

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(有)ケアシェルパ	代表者	佐鳥 均	法人・事業所の 特徴	利用者様一人一人の人格を尊重し、住み慣れた地域での暮らしを継続することが出来るよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者様の心身の状況、希望及び置かれている環境を踏まえて、通いのサービス。訪問サービス及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援します。
事業所名	小規模多機能ホーム あたがわ	管理者	高岡 陸子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	14人	1人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の項目の内容について、理解できていない職員もいて、無回答の部分が多かった為、事前に理解を深める。	前回実施後、職員の入れ替わりがあり、今回初めての自己評価の職員が多く、主旨を理解できていない職員が多かった。	ミーティングで事業所の評価まとめを皆で行ったことで内容の理解が出来た。次回はしっかり評価しますとの意見が多かった。	自己評価に取り組む際、初めて行う職員については事前に個別の説明を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	カラオケやピアノ、バンド演奏の際は窓を閉めて、近隣へは必ずお断りを入れて行うようにして対策しているが、引き続き実践して行く。	カラオケを行う際、近隣への音漏れについて、苦情や対策を全職員に周知されていなかった。	ご家族やボランティア、見学に来られた方より小規模で家庭的で居心地の良いところであるとの回答が多く寄せられた。	お一人お一人のやりたいを見つけようレクリエーションの題材の充実を図る。新たな提案をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	近隣中学校と定期的に授業の一環で1年生から3年間交流していく。	近隣中学の新1年生、新2年生が授業で施設を訪れ交流会を行った。	今後は、中学生だけではなく、近隣幼稚園児を招いてはどうかとの意見もあった。	中学生だけではなく、地域住民の方も気軽に訪れることのできる、地域に必要とされる施設を目指して秋祭りの開催を引き続き行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今後、推進会議等で事業所ご利用者以外の方との関りについても報告する。	毎月作成しているアルバムや連絡帳、推進会議で地域のイベント等の参加について報告することが出来た。	インフルエンザの流行などで地域に出向くのが困難なことも多い。	毎月公民館で行われている「いきいきサロン」に積極的に参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	毎回月曜日に開催していたが、今後曜日変更(日曜日等)も検討していく。	別の曜日に開催したが平日だったため参加者様に変わりはなかった。	地域での取組みについてどこまでを指すのかわからない。	運営推進会議に多くの方へ出席して頂けるよう日曜日の開催も取り入れていく。

F. 事業所の 防災・災害対策	防災訓練の実施案内をご家族様 や近隣の方へも配布する。	防災訓練の案内配布が出来な かった。	防災訓練の日程、案内について担 当のシフトが出来てからになる ので中々事前配布出来ない現状 がある。	防火管理者へ実施案内を作成し てもらう。
--------------------	--------------------------------	-----------------------	---	-------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 18 日 (13:45 ~15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 高岡、向井、佐々木、鈴木里子、木田

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	1人	1人	9人

前回の改善計画

- ・週1回のミーティング以外に当日勤務者 (なるべく全員参加) の業務報告及び情報共有の場を毎日設ける
- ・新規利用者の新たに知り得た情報は、日々のケース記録のほか、全員が直ぐに共有できるノートを作り、必ず目を通すようにする。

前回の改善計画に対する取り組み結果

- ・週1回のミーティング実施、日々の申し送りで情報共有することが出来た。
- ・新規利用者の新たに知り得た情報は、毎日のケース記録、申し送りノートで共有することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	4	1	0	9
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	6	2	0	10
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	4	5	1	0	10
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	3	0	10

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・週1回のミーティング、日々の申し送りで情報共有することが出来ている。また、ご家族とは連絡帳を活用し、情報共有することが出来ている。
- ・家での生活がスムーズに出来るよう個別に看護師がリハビリを実施している。
- ・利用開始時にアセスメントシートを作成、またサマリー等で情報を確認しながらミーティングで職員と情報共有している。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・現場職員はご家族と直接話す機会が少ないため、細かい情報まで中々把握できない。
- ・特に要支援の利用者本人が必要としている支援であっても必ずしも必要な支援とは限らず、本来出来ることまで過剰なサービスを行ってしまっている。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・新規利用者の新たに知り得た情報を把握、確認するために個人ケース記録は、必ず担当職員が目を通し、内容をしっかり確認して確認印を押すようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 2 月 9 日 (13:30～ 15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 高岡、鈴木愉美子、鈴木里子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取組みましたか?	0人	7人	1人	0人	8人

前回の改善計画

・情報収集するために①連絡帳の活用②ケース記録は詳しく記録 (5W1H)、特に新規利用時の様子は詳しく記入する。③各担当者は、現場で知り得た情報を細かくケアマネに報告しケアプランに盛り込んでいくようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ① 家族同居の方については連絡帳の活用ができた。
- ② ケース記録について詳しく書けているとは言えない
- ③ 各担当は関わった内容を介護支援専門員に報告しケアプランに盛り込むことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	3	4	2	10
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	1	2	10
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	6	1	10
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	3	2	9

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人がしたい気持ちを知るために、常に傾聴、観察を心掛けることが出来ている。また、目標が見い出せない利用者にもレクレーション等を通じ皆と共にいる楽しさを見失わないようにしている。
- ・リハビリノート (シール帳) を作成し、目標に向けて楽しく取り組みで頂く事が出来ている。
- ・関わった内容や情報はミーティングや連絡帳を活用し介護支援専門員に伝達することが出来ている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・週 1 回ミーティングを行っているが、シフト勤務の為、中々全員が参加出来ない現状がある。
- ・利用者に対する情報、勉強不足である。
- ・日々の業務に追われて、中々一人一人の～したいを目標とした関りが出来ない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・ケース記録について、ソフト、タブレットの導入を検討する。
- ・アクセスメントシートを活用し各担当利用者の情報収集及び理解を深める。
- ・ケアプランについて、各担当者は介護支援専門員と報連相を密にし情報共有を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 2 月 9 日 (13:30 ~ 15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 高岡、鈴木倫美子、鈴木里子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計期	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	3人	1人	3人	0人	7人

前回の改善計画

- ・アセスメントシートにきちんと目を通して以前の暮らし方を知る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・アセスメントシートにきちんと目を通す時間を中々作れなかった。スタッフの意識を高める必要性がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計額	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	3	1	4	10
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	5	1	0	10
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	2	1	3	8
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6	0	0	10
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	4	3	0	10

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・朝のバイタルチェックや入浴時などで体調の変化に気付いた時は直ちに管理者及び看護師へ報告し、適切な対応をしている。(主治医、家族へ連絡など)
- ・利用者本人の状態に合わせた基本的な介護が概ね出来ている。
- ・本人の体調や気持ちの変化に気付いた時は、即時に職員間で連携を取り適切な対応が出来ている。また、ミーティングでそのことを必ず上げて職員全員で共有することが出来ている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人の「以前の暮らし方」について全員の方の把握が出来ていない。
- ・本人の声にならない声に中々気付くことが難しい。
- ・本人の気持ちの変化や訴えに即時に支援、対応が出来ない時もある。また気持ちの面にも中々ゆっくり傾聴することが出来ない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・各担当者は、最低限、必ず基本情報、アセスメントシート、看護サマリー等必ず目を通し、確認印を押すようにする。出来れば担当以外の利用者の情報にも目を通し把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 31 年 3 月 4 日 (13:30 ~14:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー 高岡、鈴木美雪、佐々木、鈴木里子

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄					
前回の課題について取り組みましたか？	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	1人	3人	3人	1人	8人

前回の改善計画

- ・連絡帳を活用したり、送迎、訪問時にご家族へ「昨日は何をなさってましたか」など様子を伺う。
- ・地域資源について具体的にどんな物があるか、ミーティング等で上げて周知する。

前回の改善計画に対する取り組み結果

- ・連絡帳を活用することが出来た。送迎、訪問時にご家族からお家での様子を伺うことができた。
- ・地域資源についてまだまだ周知するまで至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄					
本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	1	4	3	2	10
②	2	3	4	1	10
③	0	3	5	2	10
④	0	2	3	5	10

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人のこれまでの生活スタイルについて送迎時や日々の会話で知ることが出来ている。また、ご家族からの聞き取りやアセスメントシートである程度は知ることが出来ている。
- ・連絡帳の活用。
- ・遠方のご家族とは電話やメールで報告や相談を行っている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・特に独居の方について、サービスを利用していない時間をどのように過ごされているか、ある程度は聞き取りで把握できているが、わからない点も多い。
- ・民生委員との施設交流はあるが、全員の担当の方までは把握できていない。
- ・地域資源についてまだまだ周知するまで至っていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・地域資源についてどのようなものがあるか、ミーティング時に各自上げてもらい、把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31年3月4日 (13:30~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

場所 高岡、鈴木美雪、佐々木、鈴木里子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄					
前回の課題について取組みましたか?	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	1人	1人	3人	2人	7人

前回の改善計画

・別紙項目4の地域の暮らしの支援での改善計画をもとに、皆で把握した上で活用を進めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・地域資源について新人職員まで周知に至りませんでしたでしたが、様々な地域資源の活用を使った支援を行う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄					
自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	0	3	5	2	10
②	1	7	0	1	9
③	2	7	0	1	10
④	2	3	3	1	9

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご家族の状況、ニーズに応じて急な利用変更、泊りなど柔軟な対応が出来ている。
- ・日々の関わりや記録などから本人の変化に気づき、ミーティングで共有出来ている。
- ・地域資源の活用（図書館、認知症カフェ、出張理容室、配食サービスなど）、定期的にボランティアの方に協力して頂き支援している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・全員の方の担当民生委員を把握できていない。
- ・定期的に地域資源を活用した支援を行っているが、その他の資源について把握できておらず、十分に生かすことが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・前項4で地域資源について把握した上で新たな活用方法についてミーティングで検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 3 月 4 日 (13:30 ~ 14:30)

6. 連携・協働

メンバー 高岡。鈴木美雪、佐々木、鈴木里子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
前回の課題について取り組みましたか？		2人		3人		1人		0人		6人	

前回の改善計画

・地域の中学生との交流会授業の一環で定期的に行う事を予定している。

前回の改善計画に対する取組み結果

・昨年の中学 1 年生 (新 2 年生) と新 1 年生との交流会を行うことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っているですか？	1	1	1	5	8
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	0	2	5	8
③ 地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか？	1	2	1	4	8
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	1	1	1	2

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・施設の秋祭りには、ご家族をはじめ、地域の高齢者や子供たちも参加されています。
- ・ボランティア、地域の中学生、老人会、民生委員、図書館の方などが定期的に来訪されています。
- ・医療機関と連携を取っています。
- ・定期的に運営推進会議 (家族会) を行っています。
- ・福祉用具の検討、変更時には担当者会議を行っています。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域のイベントに特に寒い時期は (インフルエンザの流行) などでも参加することが出来ない
- ・自治体や地域包括等の会議には一部の職員しか参加していない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・地域の中学生との交流を授業の一環で継続して行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 3 月 9 日 (13:30 ~ 14:30)

7. 運営

メンバー 高岡、鈴木美雪、鈴木里子、土屋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	2人	2人	0人	6人

前回の改善計画

・地域の中学生との交流を授業の一環で定期的に行う事を予定している。

前回の改善計画に対する取組み結果

・中学 2 年生、1 年生による合唱やレクレーション、窓掃除などのボランティア活動を実施しました。(前年度、現 2 年生が 1 年生の時から始める)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	1	1	3	3	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	4	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	4	0	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	1	4	2	8

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者や家族からの意見や苦情があれば、職員同士情報共有し、今後の対策を検討し常に運営に反映できるよう努力している。
- ・近隣の騒音対策として、慰問演奏などがある時は事前に連絡し、窓を閉めるなどの対策を取っています。
- ・事業所の在り方について中心となって意見をあげています。
- ・秋祭りは地域の方々に周知して頂き、無料で提供し毎年大勢の方が訪れています。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域と協働した取組みを行う事が中々出来ない。
- ・地域からの意見までは聞いていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・年 1 回の秋祭りを継続し地域交流の場となるよう取り組みます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年 3月9日(13:30 ~ 14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 高岡、鈴木美雪、鈴木里子、土屋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	1人	1人	2人	0人	4人

前回の改善計画

- ・運営推進会議に決まった職員以外にも、順番に参加するようにする。
- ・介護福祉士会、おむつメーカーの研修制度などを利用して研修の場を増やす。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・業務中のため運営推進会議には中々参加出来なかった。
- ・おむつメーカーの勉強会に参加することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施、参加していますか。	1	3	0	4	8
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか。	0	2	2	4	8
③ 地域連絡会に参加していますか。	0	1	1	4	6
④ リスクマネジメントを取組んでいますか。	0	2	2	3	7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職場内でおむつメーカーの排泄ケア勉強会に月1回参加している。
- ・2ヶ月に一度、地域を含めて運営推進会議を行っている。
- ・リスクマネジメントについて、事故報告、ヒヤリハットを週1回のミーティングで話し合い、運営推進会議で報告し今後の対策について策を講じている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・スキルアップのための研修に参加出来ていない。
- ・運営推進会議について現場職員の参加は難しい。
- ・リスクマネジメントについて今後の課題も多い。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・運営推進会議に現場職員も順番に参加、あらかじめミーティング時に選出する
- ・スキルアップの為に看護師による勉強会を実施する。
- ・町や介護福祉士会などの勉強会などにも積極的に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 3 月 9 日 (13:30 ~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 高岡、鈴木美雪、鈴木里子、土屋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄					
	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取組みましたか?	2人	1人	2人	1人	6人

前回の改善計画

- ・ミーティングや申し送りの際には、個人が特定できないように、イニシャルを用いて行うようにする。
- ・記録途中で急なコール対応時等、所定の場所にしまいう時間がない時には、記録類はそのままにせず、伏せて置くようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・記録類を閉じる習慣がなかなか定着しなかった。
- ・ミーティングや申し送り時、昼寝の時間を活用するようになったのでイニシャルではなく、そのまま氏名を用いてしまっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄					
	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	9	1	0	0	10
② 虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③ プライバシーが守られている	3	7	0	0	10
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	3	1	4	1	0
⑤ 適正な個人情報管理ができています	5	4	0	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束はしていません。
- ・虐待は行われていません。
- ・身体拘束排除宣言のポスターを玄関に掲げています。
- ・個人情報情報は決められた場所に保管しています。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職員間のやり取りや情報交換の際に他者にプライバシーについて聞こえてしまうことがある。
- ・業務日誌など個人情報がかかるものを開いたままにしていることがある。
- ・排泄や入浴介助中にドアを開けたままにしてしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・介護ソフトの導入の検討。
- ・業務日誌、ケース記録は所定の場所に閉じてしまう。(閉じることを習慣づけるようシールを貼って対策する)
- ・排泄や入浴介助中は必ずドアを閉めて行うよう徹底する。